

中国のコイ

分類：コイ目 コイ科
 学名：ソウギョ *Ctenopharyngodon idellus*
 ハクレン *Hypophthalmichthys molitrix*
 コクレン *Hypophthalmichthys nobilis*
 英名：Chinese Carps

中国のコイ科の特産種である。ソウギョ、ハクレン、コクレンの三者を中国のコイと呼称し、生態が異なるにも抱らず混養可能であるので総称されているものと思われる。日本では昭和16年中国から種苗が利根川に放流され繁殖を続けている、日本の淡水産の魚類は何れも卵を水草や石礫に産みつけるが、これらのものは産み落した卵の流れにまかせて流し、途中で卵浮化する性質をもっているため、長い河川でないと海に押し流されてしまう。ソウギョは咽頭歯が鎌の様に鋭く、真菰などを喰いちぎって餌とする。ハクレンは櫛状の歯が同じく隣の歯と接着しフルイの役目をするので微小な植物性プランクトンの摂餌に役立つ。ハクレンは動物性プランクトンを食餌とする。コイは体長の2倍の腸をもつが、ハクレンのそれは体長の10数倍にも及ぶ。



ソウギョ



ハクレン



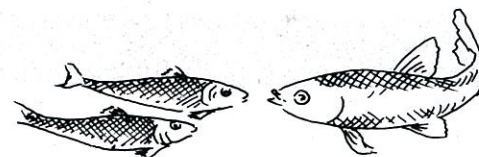
ソウギョ



ハクレン



ソウギョ



レッドテールブラックシャーク

分類：コイ目 コイ科
 学名：*Labeo bicolor*
 英名：*Pedtail black shark*

インドシナ半島のメナム河が原産地で、体長12cm位、体色は黒1色のところに尾鰭のみが鮮赤色で、飼育状態の良いほど赤色が鮮やかになる。弱アルカリ性の硬水を好む(PH7.5)同属の魚に対してはやや攻撃的なるも、他種のものには比較的無関心で性質も温和しい方である。餌料は何でも良く食べるが時々ホウレン草の煮たものなどをやると良い。繁殖は難しくその例を聞かない。

